

白鳥

学校教育目標 夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成

3つの目標

校訓や学校教育目標の達成を目指して、まずは礼儀正しく落ち着いた生活習慣を身に付けることや安心して学習や生活ができる学級づくりに全職員で取り組んでいます。

今回は、4月7日の始業式で子どもたちに話した3つの目標への取り組みについて紹介します。

1. 「自分からあいさつをしよう。」



上級生である5年生や6年生の頑張りが光っています。自分から進んで挨拶をしようと意識して取り組んでくれています。上級生が手本を見せてくれる班は、下級生も上手です。

全体的には挨拶が上手だと思うのですが、まだ、挨拶の声が出にくいお子さんもいます。今後もほめたり話しかけたりしながら、指導を継続しようと考えています。

ご家庭でも「おはよう」「ただいま」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」などが進んで言えるとすばらしいですね。

2. 「『はい』と返事をしよう。」



名前を呼ばれた時や、何かを確認された時に

「はい。」と返事ができる子どもたちを目指して指導を行っています。挨拶のように毎日全員の様子を確認することはできないのですが、「はい。」と返事ができているお子さんを見つけほめるようにしています。

3. 「くつをそろえよう。」



「履き物を揃えると心も揃う」

長野県の住職 藤本幸邦氏が書かれた詩の一部です。意識して揃えることで心に落ち着き生まれ、乱れた靴を静かに直す余裕が他者への思いやりを育むという意味だそうです。

クラス全員の靴のかかどが靴箱の縁にきれいに揃った靴箱を見かけると、とても気持ちがいいです。

ホームページには掲載しておりません。

本日は、お忙しい中、授業参観、学級懇談会、PTA 総会にご参加いただきありがとうございました。今後のPTA行事へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

また、昨年度ご尽力いただきました秋吉会長様をはじめとする令和7年度のPTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

そして、本年度会長の池田様をはじめとする令和8年度の役員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

